

ドリフト走行公式競技「ロシア自動車連盟 CUP RDG GP」2021

規定

承認済み

ロシア自動車連盟ドリフト走行委員会

2020年12月9日

認定済み

ロシア自動車連盟スポーツ議会

2020年12月15日

ロシア自動車連盟 CUP

2021年度ロシア・ドリフトシリーズ GRAND PRIX

(RDS GP 2021)

規定

1 総則	1
2 大会日程	3
3 申請者、ドライバー、代表者、スポッター、チーム、部門	3
4 参加費	5
5 車	5
6 サーキット、パドック（サービスパーク）、給油エリア	6
7 各ステージ実施に関する規定	8
8 予選レース	9
9 ペアレース	9
10 結果発表、点数付与	12
11 ペナルティ、罰金	13
12 異議申立、控訴	13
13 授賞式	13
付録1 ペナルティ対象項目一覧表	14
付録2 スタートの実施手順	18
付録3 チームごとの予選レースの実施方法	19
付録4 必須表記、スタート番号、シール、広告の配置手順	20
付録5 ドライバー、代表者、スポッターへの RDS GP 証明書の発行手続き	23
付録6 RDS GP 2021 予選レース、ペアレースに対して付与される点数一覧表	24

1 総則

本規定は、2021年度ロシア自動車連盟 CUP・ロシア DC1 級ドリフトシリーズ GRAND PRIX（以下「RDS GP 2021」という）の準備および実施手順を定めるものである。

RDS GP 2021 に参加するすべての参加者、申請者および代表者は以下の規定書類に基づき行動しなければならない。

- ・ 2007年2月4日付連邦法第329-Φ3「ロシア連邦における体操およびスポーツについて」

- ・ 全国大会に関する各規定
- ・ ロシア・スポーツ省により承認された 2016 年 8 月 9 日付全国アンチドーピング規則第 947 号
- ・ ロシア自動車連盟スポーツ法典（以下「スポーツ法典」という）。なお、付録を含む。
- ・ ドリフト競技に関する現行規則（以下「ドリフト規則」という）
- ・ RDS GP 2021 の本規定およびそれに付属する報告書
- ・ 本大会に関する技術的要件（「分類および技術的要件」の付録 2 4 第 1 条）
- ・ RDS GP 2021 各ステージの規定
- ・ 連邦法第 329-Φ3 号の第 2 6 条 2 項 4 号の 3（あらゆる公認関係者および大会参加者によるスポーツ大会の結果に対する違法な影響の禁止について）
2007 年 12 月 4 日付連邦法第 329-Φ3 号「ロシア連邦における体操およびスポーツについて」の第 2 6 条 2 項 4 号の 3 に基づき、ブックメーカーやパリミュチュエル方式等による公式なスポーツ大会を巡る賭け事をしてはならない。

ロシア自動車連盟 CUP「RDS GP 2021」の主催者は、ロシア自動車連盟大会主催者資格を有する法人の有限会社「Russian Drift Series」であり、当法人はロシア自動車連盟により本大会に関する商権を譲られ、ロシア自動車連盟による要求の厳守、本大会の日程表どおりの実施ならびに当該の催し物の実施期間中の参加者、審査員、観客の安全に対する責任を有するものである。

主催者・有限会社「Russian Drift Series」に関する情報は以下の通りである。

納税者個人番号：7724805877

住所：〒127-550 ロシア連邦モスクワ市 Bolshaya Akademicheskaya 通り 44-2 228B 室

CEO：DOBROVOLSKIY Dmitriy Andreevich

ロシア自動車連盟大会主催者資格番号：20016 (100)

2 RDS GP 2021 日程

ステージ番号	実施期間	実施場所	
		オートドローム	州等の地域名
1. 【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】
2. 【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】
3. 【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】
4. 【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】
5. 【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】
6. 【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】
7. 【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】	【記載なし】

※COVID-19 新型コロナウイルスによるペンでミック状況により、上記の日程表が変更する可能性がある。日程変更があった場合、RDS GP の公式サイト（www.vdrifte.ru）の「ファイル」およびロシア自動車連盟の公式サイト（www.raf.su）の「ドリフト」に掲載される。

3 申請者、ドライバー、代表者、スポッター、チーム、部門

3.1 RDS GP 2021 の申請者は以下の要件のいずれかを満たしていなければならない。

- ・ 法人の場合、ロシア自動車連盟、FIA、ASN 等の組織により交付された申請者資格を有するもの
- ・ 個人の場合、18 才以上であり、ロシア自動車連盟によるドライバー資格を有するもの。なお、それはドライバーとして申請者本人を申請する場合に限る。さらに、この場合、ロシア自動車連盟から申請者資格をもらう必要がない。

3.1.1 あらゆる申請者はスタッフとして代表者およびスポッターを指名し、それらを参加申込書に記載しなければならない。

3.1.2 代表者は、大会の期間中に申請者を代表し、ドライバー本人の署名が必要な場合を除き、紛争等が生じた場合、申請者の立場を代表して表明する権利を有する。

3.1.3 スポッターは、打ち合わせに参加し、試走時に審査員のいる場所に立ち会い、スポッター専用の作業エリアにアクセスする権利を有する。

3.2 RDS GP 2021 への参加申請をしたドライバーは、ロシア自動車連盟、FIA、ASN に交付された有効なドライバー資格を有し、かつ、有効な RDS GP 2021 ドライバー証明書を有しなければならない。なお、当証明書の申請手順に関しては、付録 4 を参照すること。

3.3 申込書に記載された RDS GP 2021 ドライバーの代表者およびスポッターは、有効な RDS GP 2021 代表者またはスポッター証明書を有しなければならない。なお、当証明書の申請手順に関しては、付録 5 を参照すること。

3.4 参加申込書は、ステージ別規定に基づき、本大会の公式サイトに掲載された申請用紙に記入し、主催者宛に送付しなければならない。

3.5 応募期間が終了し、ドライバーの氏名一覧表が RDS GP 2021 の公式サイトで発表された後、申込書を取り消したい場合、申請手数料の全額を予め支払わなければならない。

3.6 大会への参加申請をしたドライバーが、主催者に連絡せずに大会に出頭しなかった場合、そのドライバーは資格を一時解除され、付録 1 によるペナルティ金を支払うまで解除されたままとなる。

3.7 ドライバーに関する事務検査にあたり、各ドライバーは以下の書類を提示しなければならない。

- ・ 申請者資格証明書（申請者が法人である場合、代表者に対する委任状）
- ・ 各ドライバーに関するロシア自動車連盟、FIA または ASN のドライバー資格証明書
- ・ スポーツ選手資格帳
- ・ 本大会への参加承認証明書（ロシア連邦以外の国籍を有し、ロシア自動車連盟のものと異なる ASN により発行された資格を有するドライバーの場合）
 - ・ 記入・署名されたマーケティング同意書
 - ・ 各ドライバーに関する RDS GP ドライバー証明書
 - ・ 各代表者に関する RDS GP 代表者証明書（それがあある場合のみ）
 - ・ 各スポッターに関する RDS GP スポッター証明書（それがあある場合のみ）

3.8 RDS GP 2021 では、個人およびチーム部門のそれぞれにおいて優勝者および受賞者が選出される。

3.9 RDS GP 2021 チームの部では、各ステージにつき最大 3 名のドライバーを申請することができる。各シーズンにおいて、特定のドライバーを申請できるのは一つのチームに対してのみである。チームは、RDS GP

2021 のいずれかのステージにおいて初回申請を行った時点から参加者として見なされることになる。

3.10 チームに関する事務検査にあたり、各チームは以下の書類を提示しなければならない。

- ・ ロシア自動車連盟により発行されたチーム登録証明書（なお、一人の申請者が各チームにつき申請できるドライバー人数は3名以下とする。）

- ・ ブロック体で記入されたチーム申請用紙

3.11 代表者、スポッター、ドライバー、コーチ、メカニック等は、申請用紙に署名することにより、ロシア自動車連盟の法則ならびに本規定のその管轄下に置かれ、それらに定められた規則に従うことに同意したとみなされる。

3.12 各ステージに参加するすべてのドライバーは、ステージ別日程表に従い、健康診断を受けなければならない。なお、健康診断を受ける際、以下の書類を提示しなければならない。

- ・ 自動車大会への参加を許可する健康診断書およびそのコピー（ロシア連邦以外の国籍を有し、ロシア自動車連盟のものとは異なる、ASNにより発行された資格を有するドライバーの場合）

- ・ 上記の診断書を発行した医療機関により捺印された、当機関の資格証明書（なお、医学体操診療所の場合を除く。）

4 参加費

参加費の上限として、以下の金額を設定する。

	基本参加費	増額参加費
	（主催者の指定する広告の掲載を許可した場合）	（ステージ別規定に定められた申込書受付期間を過ぎて申請した場合）
ドライバー1名につき	40,000 ルーブル	45,000 ルーブル
チーム1組につき	45,000 ルーブル	不可

4.1 RDS GP 2021 の全7ステージへの参加費を一括で支払う場合、割引が適用されドライバー1名につき210,000 ルーブル、チーム1組につき250,000 ルーブサーキットなる。なお、この場合、当ドライバーまたはチームは全7ステージへの参加を義務付けられることになる。

4.2 ドライバーまたはチームは、前項に基づき割引が適用された全ステージ分の参加費を支払いいずれかのステージに参加しなかった（申請したマシンで公式レースに出頭しなかった）場合、付録1に基づきペナルティ金が課せられる。

4.3 申請者は、主催者に指定された広告を車本体およびドライバーのレーシングスーツに掲載することを拒否した場合、拒否したスポンサー1社につき、申請するドライバー1名当たり60,000 ルーブル、2社の場合には120,000 ルーブサーキットという計算に従い追加手数料を支払わなければならない。なお、上記の金額は1ステージ当たりの金額である。

4.4 参加費は、申請受付期間中に、主催者が指定する銀行口座への振込または事務検査の日に現金で支払わなければならない。

5 車

5.1 本大会に参加できるマシンは、DC1級であり、かつ「分類および技術的要件」の付録2.4ならびにシーズンを通して発表される報告書に定められた要件を満たしていなければならない。

5.2 すべてのマシンを、大会日程表に従い、技術検査に提供しなければならない。検査に合格しなかったマシンはレースに参加できない。なお、本大会のあらゆる段階で追加の技術検査を実施することがある。

5.3 技術検査の際、申請者は以下のものを提示しなければならない。

- ・ スタートに備えて完備された車
- ・ 申請対象のマシンに関するスポーツカー登録証
- ・ ロールケージに関する書類（必要な場合のみ）
- ・ 事務検査の合格を証明する事務局長による一筆の入ったチェックシート
- ・ ドライバーの装備（レーシングスーツ、ヘルメット、目出し帽、下着、ブーツ、グローブ、頭頸部安全装置（HANSまたはFHR）、手部固定システム（それが利用される場合）
- ・ メカニック（メカニックスーツおよびブーツ）

5.4 申請者は、予備のマシンを申請することができる。なお、この場合、常備のマシンの同一の要件を満たしていなければならない（技術検査の合格証明書、関連書類一式、必須の広告シール等）。

5.5 技術検査のためにドライバーが最初に提供したマシンは、当ドライバーの常備の車とみなされ、予備の車として申請・利用できない。

5.6 常備のマシンを予備の車へと交換できる時期は以下の通りである。

- ・ 予備選が始まる前までの期間中
- ・ TOP-32が始まる前までの初日に
- ・ TOP-16が始まる前までの二日目に

5.7 常備のマシンを予備の車へと変更する場合、その申請時に追加手数料を支払わなければならない。

15,000 ルーブル	予備のマシンをドライバー1名が利用する車として申請する場合
20,000 ルーブル	予備のマシンを同一チームのドライバー2名または3名が利用する車として申請する場合
30,000 ルーブル	予備のマシンをドライバー4名以上利用する車として申請する場合

5.8 いずれの場合においても、予選において一ステージにつき申請されたマシンはドライバー1名が一回のみしか利用できない。つまり、他のドライバーが既に利用したマシンはそれ以上利用できない。

5.9 タイヤについて

タイヤ幅の上限値はマシンの重量により制限される（マシンの重量について、スタートに備えて完備されたマシンの重量および装備一式を着用したドライバーの体重を含む。以下、本条において同じ）。技術要件で定められたタイヤの他に、「competition only」という表記のあるタイヤその他専用のタイヤを利用することができる。なお、この場合、そのブランド、モデルおよびサイズに関しては、主催者により認定されたものに限る。

マシンの重量 (kg)	幅 (製造工場による表記)
850~954	235
955~1089	245
1090~1224	255
1225~1500	265

タイヤ幅によるマシンの重量の下限値は、事務検査時に申請され、技術検査時に各マシンに対して設定され

るものである。技術検査後から競技が終了するまでの期間中に、この比率を変更することを禁ずる。さらに、予選が開始した時点から全ステージが終了するまでの期間中、マシンの重量は下限値を下回ってはいけない。

5.10 計量について

4.10.1 各マシンの計量は技術検査時に行われ、測った重量は計量調書に記載される。なお、マシンにバラストが取り付けられている場合、それは密封される。

4.10.2 マシンの計量は、競技に参加するための装備一式を着用したドライバーを載せた状態で行われる。

4.10.3 競技のあらゆる段階において、マシンを計量することがある。

4.10.4 車が計量エリアまで自力で辿り着けない場合、審査員の立会いの下そこへと移動される。

4.10.5 ドライバーおよび(または)マシンは、技術検査官の許可なしに計量エリアを去ってはいけない。

4.10.6 車が計量の対象にしてされた場合、指定された時点から、潤滑剤、液体、ガスその他あらゆる性質のあらゆる物質を加えたり乗せたり交換したりすることを禁ずる。

4.10.7 計量の対象に指定されたマシンに部品が欠けている場合、それらの部品が計量のために運ばれてくるまでの期間中計量エリアで待機し、欠けていた部品が取り付けられてから計量を行う。

4.10.8 計量エリアには、技術検査官、監督官、レースの長その他公認関係者のみ立ち会うことができる。上記の公認関係者から事前に承諾を得た場合を除き、第三者が立ち会ったりあらゆる方法により関与したりすることを禁ずる。

5 サーキット、パドック（サービスパーク）、給油エリア

RDS GP 2021 の各ステージは、ロシア自動車連盟の安全規定に準ずる専用のサーキットにて行われる。

5.10 サービスパークに配置される際、各申請者は配置に必要な場所の形および大きさを参加申込書に記載しなければならない。なお、主催者が提供できる場所の大きさは車1台当たり6×6mであり、それ以上の場所が必要な場合、主催者との事前協議の上、サービスパークに余裕がある場合のみ提供される。

5.11 サービスパークに配置される際、各申請者は申請したマシンを配置するためのテントを予備のマシンを含めた台数の分だけ用意し、さらに消火剤の含有量が2kg以上で消費期限が有効な消火器を2本以上用意しなければならない。各テントの地面には大きさ3×6mの、燃料、潤滑剤その他の液体の浸透を防ぐ防水シートをマシンの下に敷かなければならない。

5.12 サービスパークにおけるマシンの移動速度は最大5km/hとする。さらに、車がサービスパークを移動する際、メカニックその他チームメンバーが引率し常に車体に手を置きながら速度管理をすることが勧められる。

5.13 マシンのあらゆるメンテナンスはサービスパークおよびボックス（それがあある場合）においてのみ許可される。一部のサーキットでは、スターティンググリッドの前にさらにダミーグリッドを設けることがあるが、危険性の高い地区として立入制限をかける。

5.14 ダミーグリッドには、装備一式を着用した参加者ドライバー、参加者ドライバーの認定メカニック（この場合、メカニックは隙間のないブーツならびに手首までの腕およびブーツの高さまでの足を含めた全身を覆うような作業服（専用の不燃性メカニックスーツが望ましい）を着用しなければならない）、代表者、申請者、サーキットへの立入りを許可された認定マスメディアのみ立ち会うことができる（なお、後三者とも同じく隙間のないブーツならびに手首までの腕およびブーツの高さまでの足を含めた全身を覆うような服を着用し

なければならない)。

5.15 に危険を与えるには、16 才未満の者、アルコール等による中毒状態にある者、適切な服装をしていない者ならびに動物の立会いを禁ずる。さらに、主催者は、ある者がダミーグリッドにいることによって当人または周囲の者に危険が生じる可能性があるとして判断した場合、ダミーグリッドへの当人の立入りを禁止することができる。ダミーグリッドにおけるマシンの配置手順は、主催により定められ、打ち合わせの時に申請者およびドライバーに通知される。

5.16 マシンに対する燃料・潤滑剤の供給作業は給油エリアでのみ可能である。当エリアはサービスパークと異なる所にあり、基本的にサーキットに向かってサービスパークを出た所に位置する。但し、サーキットの構造によってはこの限りではない。また、サーキットの構造によっては、ペアレースのときに、ダミーグリッドに隣接して給油エリアを設けることもある。

5.17 給油エリアにおけるマシンの待機時間は給油に必要な時間を超えてはならず、給油作業が終わった時点、直ちにそこを去らなければならない。

5.18 給油中は、マシンのエンジンを停止させ、主電源を切らなければならない。

5.19 ドライバーは車外にすることが望ましいが、車内にいる場合にはシートベルトを外し、扉を開けた状態にしなければならない。

5.20 給油作業を行う者は、可燃性液体を消火することに特化し、かつ消化成分の容量が 4kg 以上を含有する消火器（1 本または数本）を用意しなければならない。さらに、専用の不燃性メカニックスーツおよび防火マスクを着用しなければならない。（メカニックが上記の装備を持っていない場合、給油エリアに整備されている、主催者に提供されたスーツとマスクを利用しなければならない。）

5.21 燃料が地面に漏れた場合、マシンの給油作業を行うメカニックは直ちにそれを排除しなければならない。

5.22 燃料および潤滑剤は、競技中給油エリアまたはサービスパーク敷地内のメンテナンス専用車の車内でのみ保管することができる。申請者は燃料を保管するにあたり、災害時におけるその安全を確保しなければならない。

5.23 主催者はサービスパークの敷地内にタイヤフィッティングエリアを設けなければならない。

5.24 サービスパークにおけるテント、メンテナンスエリア、マシンの配置図は主催者が定める。

5.25 サービスパーク内のテントおよび（または）メンテナンスエリアを解体したり予備品、タイヤ、マシンその他の所有物を回収したりし、サービスパーク敷地外へ運び出す場合、事前に主催と協議し許可を得た上、配置用スペース引渡調書に署名しなければならない。なお、観客のサービスパークへの立入が禁止されている期間中にのみそれができる。

5.26 ドライバー個人用に提供された区画は、観客の立入禁止が解除された時点から競技の閉会式までの期間中常に清潔であり見栄えが良くなければならない。この要件に反した場合、付録 1 に基づきペナルティ金が課せられることがある。

6 各ステージ実施に関する規定

6.10 RDS GP 2021 のすべてのステージは、定められた日程表およびステージ別プログラムに沿って実施される。

6.11 サーキットおよびサービスパーク内の移動、フィニッシュからスタートライン、パドック、ダミーグリッドへの回帰手順は、主催者により定められ、公式な掲示板に掲載される。

6.12 レースの審査は、審査仕様書に基づき行われ、当仕様書は公式レースが始まる前の打ち合わせの折に発表される。

6.13 ペアレースの場合、オリンピック式審査が適用される。

6.14 大会に参加するすべてのドライバーは各打ち合わせに出頭しなければならない。ドライバーが事前に主催者の承認を得ずにいずれかの打ち合わせに出頭しなかった場合、ペナルティ金が課せられる。なお、以下の各号に該当する者を除く。

- ・ 予選の結果によりペアレースに参加できなくなったドライバー
(当ドライバーは各ステージの二日目に実施される打ち合わせに参加しなくてもよい。)
- ・ 公認代表者を持つドライバー (これに関しては3.1.2を参照。)

6.15 公式打ち合わせおよび授賞式中、騒音を伴うあらゆる作業および(または)行為を禁ずる(アイドル運転以上の回転でのエンジン稼働、音響機器等の使用を含む。なお、この限りではない)。

6.16 サーキットにおいて、主催者により定められた進行方向と逆行する移動を禁ずる。なお、主催者から直接そのような指示および(または)そうすることに対する承諾があった場合を除く。

6.17 リハーサル、予備選、ペアのレースにおけるスタートの合図は、本規定に付属する付録2「スタートの実施手順」に基づいて出される。

6.18 マシンがサーキット内に駐在する間、メインヘッドライトのディップビームおよびリアライトの赤いサイドライトをオンにしなければならない。この要件に関しては、スタート地点にて確認され、上記のライトに不具合が発見された場合、ペナルティ金が課せられる。

- ・ 昼に実施される場合、付録のペナルティ一覧表に基づき課金される。
- ・ 夜に実施される場合または夕暮れ、雨、霧、煙などにより視界が制限されている場合、レース参加を拒否される。

6.19 開会式は、競技一日目のTOP-32 ペアレースの前、および、二日目のTOP-16 ペアレースの前に行われる。

6.20 各ドライバーは、申請したマシンに乗車してパレードに参加しなければならない。なお、参加者から事前に申し出があった場合に限り、レースの長はマシンに乗車しない状態でのパレードへの参加を許可することがある。

6.21 各ドライバーは開会式の一環として設けられるサイン会に参加しなければならない。また、サイン会が終わった後、準備のため(参加者交流担当士官またはサービスパーク担当士官の指導に従い)ダミーグリッドに移動しなければならない。

7 予選レース

7.10 予選レースは本番と同一のサーキットにて行われ、2回の挑戦から成る。予選レースの実施手順は、付録3の通りである。

7.11 予選レースにおいて、マシンに乗車できるのはドライバー1名のみであり、他人が乗り合わせてはならない。

7.12 予選レースが終わった後、各ドライバーの位置を記載した調書が作成される。なお、位置を決めるに当たり、各ドライバーについて最高点の挑戦を参照する。

7.12.1 幾人かのドライバーが最高点の挑戦で同一点数を獲得した場合、最低点の挑戦を参照する。

- ・ 幾人かのドライバーがいずれの挑戦においても同一点数が獲得された場合、最高点の挑戦において「運転スタイル」をより高く評価されたドライバーが上位になる。これにおいても同一点数の場合には、最低点の挑戦において「運転スタイル」をより高く評価されたドライバーが上位になる。

- ・ 前号において同一点数が獲得された場合、各ドライバーの「角度」に対する評価を参照する。
- ・ 前号において同一点数が獲得された場合、各ドライバーの「軌道」に対する評価を参照する。

17.12.2 なお、前項において同一点数が獲得された場合、予選レースにより早く出走したドライバーが上位になる。

8 ペアレース

8.10 ペアレースはステージ別規定に定められた日程表に沿って開始される。レースの長から延期の発表がなかった場合、競技日程表および発表されたヒート表に基づきスタート準備をしなければならない。

8.11 各ヒートの第一ペアは、競技日程表に示されたスタート時間の3分前までにスターティンググリッドに到着し、スタートラインに誘導されるのを待っていないなければならない。

8.12 ヒートレースでは、ドライバー以外の乗客のマシンへの乗り合わせを禁ずる。

8.13 各ヒートが終わった時点、スターティンググリッド前に設置されたスコアボードに3分のカウントダウンが始まる。それに基づき、3分が経過する前までに、次のヒートの第1ペアはスターティンググリッドに到着し、スタートラインに誘導されるのを待っていないなければならない。車体がスターティンググリッドの境界線を通じた時点、マシンがスターティンググリッドに到着したとみなされる。指定された時間内にスターティンググリッドに到着しなかったドライバーに対して、技術退席の措置が講じられる。

8.14 スターティンググリッドには、主催者および当該レースの参加者ドライバーのみ駐在することができる。なお、各ドライバーはマシンに乗車した状態でいてスタートに誘導される準備を整えていなければならない。公認関係者の承諾を得ることなくマシンを降車してはならない。

8.15 両者のドライバーがスタート直前にスタートラインにいなかった場合、スタートの合図は当人がいない状態で出され、両者とも当ヒートに敗戦したとみなされ、両者とも次のラウンドに進むことができない。このような事態は決勝戦で発生した場合、両者のドライバーともに2位となり、1位は「該当者なし」となる。一方、3位決定戦で発生した場合、両者のドライバーともに4位となる。

8.16 スタート合図は信号または旗を以て出される。両者のマシンともフィニッシュラインを通過した時点またはレースの長がレースの終了を発表した時点でレースが終了したとみなされる。

8.17 レース中、マシンがサーキット上に止まり自力でフィニッシュラインを通過することが出来ない場合、レースの長はレース終了を発表し、牽引隊をサーキットに入場させる。

8.18 ヒートの第1レースでフィニッシュラインを通過したドライバーは、止まらずにピットまたはスターティンググリッドに移動しなければならない。

8.19 ヒートの第1レースに参加したマシンのうちのいずれかがピットの境界線を通じた場合、両車に対してもメンテナンスを行うため1分のカウントダウンが同時に始まる。なお、この場合、サスペンションの剛性の確認、調節、変更をしたり、圧力の測定、調節、変更その他リアタイヤを対象にしたあらゆる動作をしたりすることを禁ずる。

8.20 指定された時間が経過した後、両者のドライバーがマシンに乗ってピットを去り、その境界線を越え、止まらずにスターティンググリッドに移動しなければならない。スタート直前にペアのうちのいずれかのマシ

ンが到着していない場合、審査仕様書に従い、到着したマシンに対してのみスタートの合図が出され、サーキットを通過させる（「bye run」という）。この場合、マシンが配置線を自力で通過した時点でレースが終了したとみなされるが、審査官の評価は出ない。スタートラインに出頭しなかったドライバーが当ヒートに敗戦したとみなされる。

8.21 各ドライバーは、一ステージ（TOP-32 開始後から決勝戦開始前までの全レース）につき、マシンの修理のために5分のタイムアウト（「competition timeout」という）を要求する権利がある。

8.22 ドライバーまたはその代表者が5分のタイムアウトをとると判断した場合、ヒートの第1レース前の3分が経過する前まで、または第2レース前の1分が経過する前までに参加者交流担当士官にその旨を通知しなければならない。なお、この場合、以下の要件を厳守しなければならない。

- ・ ヒートの第1レースが始まる前に5分を使う場合、マシンの修理作業を各マシンのボックス（テント）で行うことができる。

- ・ 同ヒートの第1レースが終わり、第2レースが始まる前に5分を使う場合、マシンの修理作業をピット（修理エリア）でのみ行うことができる。

8.23 同ヒートの第1レースでマシンがフィニッシュラインを通過し、当レースが終了した後、ピット（修理エリア）またはスタートラインと異なる場所に移動した場合、スタートラインに出頭しなかったとみなされ、技術退席扱いとなる。

8.24 マシンのうちの1台または両車とも故障（事故）を起こし自力で移動できなくなった場合、レースの長は牽引の必要を発表する。なお、牽引されたマシンに対してはピット作業を行わない。

8.25 位決定戦に当たり、マシンの準備時間は10分まで延長される。なお、そのカウントダウンは前のヒートの結果が発表された時点で始まる。10分が経過した後、当ヒートに参加するマシンがスターティンググリッドに到着しなければならない。

8.26 決勝に進出した両者のドライバーは、3位決定戦が終了した時点から3分以内に、決勝進出者パレードに参加するために、徒歩でかつ装備一式を着用した状態でスタートラインに出頭しなければならない。上記の時間が経過してドライバーが出頭しなかった場合、レースの長はペナルティ金を課すことができる。この場合、ペナルティの金額は付録1に基づき定められ、決勝進出者パレードは当ドライバーを除いての人数で行われる。

8.27 決勝進出者パレードが終了した後、両者のドライバーは、当人のマシンが待機している修理エリアに移動しなければならない。スコアボードに3分の表示が点灯されカウントダウンが始まる。上記の時間が経過した時点マシンがスターティンググリッドに到着していない場合、当ドライバーは技術退席とみなさる。なお、5分のタイムアウトをとる必要および可能性がある場合、ドライバー（代表者）は8.12に定められた手順に沿って行動しなければならない。

8.28 マシンが自力でサーキットを去ることができず牽引された場合、修理エリアに到着後5分のタイムアウトをとることができる（なお、未使用の場合のみ）。この場合、マシンが修理エリアに設置された時点、レースの長から「5分カウントダウン開始」という合図がある。なお、マシンが修理エリアに設置され、カウントダウンが始まる前に、公認関係者から然るべき指示を得ずにマシンに対するあらゆる修理作業を行ってはならない。

8.29 ヒートの第1レース中に衝突事故が発生し、審査官が、それが当ヒートの結果に影響を及ぼす可能性があると判断した場合、9.8に定められた規則は適用されず、ドライバ（チーム）は、ピット時間の1分が経過する前までに他の参加者の立会いの下審査官に対して、マシンへの損傷の度合いおよびレースへの今後の参加

の可否について報告しなければならない。この場合、1分が経過した後も、参加者はピットに残り、当該事故に関する審査官の判断を待っていなければならない。なお、この場合、ドライバーはマシンに乗車した状態がいなければならない。また、5分のタイムアウトが要求された場合を除き、マシンに対するあらゆる作業をしてはならない。

8.29.1 修理に時間がかかるような損傷の場合、審査官は当該事故につき責任者を判断し発表しなければならない。この場合、被害者のドライバーは、レースへの今後の参加の可否について判断をし、直ちにその旨を他の参加者の立会いの下審査官に報告しなければならない。

8.29.2 被害者のドライバーは引き続きレースに参加すると判断した場合、事故責任者のドライバーに第1レースに対して0点の点数が付与され、当ヒートの優勝者を第1レースおよび第2レースでの得点の合計をもとに定める。

8.30 ヒートのいずれかのレース中に、衝突事故があり、被害者ドライバーのマシンがレースに引き続き参加できないほどの損傷を受けた場合、相手に責任があつて被害を受けたドライバーが当ヒートの優勝者とみなされる。この場合、相手ドライバーに当該事故の責任があるという判断は審査官が下さなければならない。

8.30.1 当該衝突事故がヒートの第1レース中に発生した場合、各ドライバー（または代表者）は5分のタイムアウト（なお、未使用の場合のみ）をとりマシンの修理に当てることができる。

8.30.2 当事者のドライバーが5分のタイムアウトをとった後、当人が当該衝突事故に責任がないと審査官が判断した場合、とった5分のタイムアウトは未使用とみなされる。

8.30.3 事故の時点で5分のタイムアウトが既に使用済みであり、それにも関わらずマシンが、ピット作業が終了した後もスターティンググリッドに出走できない場合、当ドライバーは審査官の判断を待っていなければならない。なお、この場合、マシンに対するあらゆる作業を禁ずる。審査官の判断により、当ドライバーは事故責任者とみなされた場合、技術退席扱いとなる。

8.30.4 ヒートの第1レース中に発生した（衝突）事故に対する責任者の発表は、審査官により第2レースが開始する前までになされる。

8.30.5 被害者ドライバーのマシンがレースに引き続き参加できないほどの損傷を受けたような衝突事故はヒートの第2レース中に発生した場合、参加者のマシンはテント（ボックス）に移動されることがある。

8.31 ペアレース中に、前方マシンのドライバーがクリティカル・ミスイクを起こし0点を付与された場合、そのクリティカル・ミスイクを起こした時点レースが終了したとみなされ、その後の両ドライバーの動作は審査の対象外となる。一方、ペアレース中に後方マシンが0点を付与された場合、前方マシンのドライバーの動作はフィニッシュを通過する時点まで審査の対象となる。

8.32 同ヒートの第1レースおよび第2レースの間にマシンのリアタイヤを交換することを禁ずる。なお、9.24に定められた場合を除く。

8.33 ドライバーまたはその代表者によりリアタイヤの損傷が発見された場合、5分のタイムアウトをとりそれらを交換することができる（なお、タイムアウトが未使用の場合のみ）。このタイムアウト中にはマシンに対してあらゆる作業が可能である。

8.33.1 ドライバーまたは代表者が第1レースおよび第2レースの間にタイヤを交換すると判断した場合、直ちに参加者交流担当士官にその旨を通知しなければならない。この場合、相手ドライバーは当ヒートにつき追加の5分のタイムアウトを与えられ、タイヤ交換を含めマシンを対象としたあらゆる作業に当てることができる。

8.34 レースのやり直し（「one more time」という）の指示が出された場合、各ラウンドにつき指示が早い順に実施される。

9 結果発表、点数付与

9.10 各ステージについて、各ドライバーの最終得点は、付録7に基づき計算された点数をそれとみなす。

9.11 各ステージについて、各チームの最終得点は、そのチームに所属するドライバー2名の個人最高点を合算した点数をそれとみなす。

9.12 そのチームに所属するとして申請されたドライバーが強制退席の措置を受けた場合、当チームの最終得点を計算するに当たり、ドライバー1名のみの最高点を参照する。

9.13 各ステージにつき、二つ以上のチームが同一得点になった場合、個人の得点が最も高いドライバーのいるチームが上位となる。

9.14 各ドライバーについて、RDS GP 2021 シーズンにおける当個人個人の最終得点は全7ステージでの個人得点を合算した点数をそれとみなす。

9.15 RDS GP 2021 において、幾人かのドライバーが同一得点となった場合、以下の手順によりその順位が決まる。

- ・ 各ステージにおいて上位（1位、2位、3位等）になった回数が多いドライバーがシーズンにおいて上位となる。

- ・ 前号においても同一得点の場合には、上位になったステージが遅いドライバーがシーズンにおいて上位となる。

9.16 各チームについて、RDS GP 2021 シーズンにおける当チームの最終得点は全7ステージでのチーム得点を合算した点数をそれとみなす。

9.17 RDS GP 2021 において、二つ以上のチームが同一得点になった場合、個人の得点が最も高いドライバーのいるチームが上位となる。

9.18 各ステージについて、参加チームが3つ以上の場合にのみ点数が付与される。

10 ペナルティ、罰金

10.10 申請者、ドライバー、代表者その他大会参加者が関連法則に定められた要件に反した場合、本規定に付属する付録1に基づきペナルティ金を課せられることがある。

10.11 各ステージについて、それが終わった後発表された写真、動画その他の資料を分析するまで、主催者は執行猶予付きの罰金を参加者に課することができる。この場合、ドライバーは執行猶予付きの罰金を次のステージが始まる前までに支払わなければならない。

10.12 RDS GP 2021 規定に付属する付録1に定められたすべての項目について、執行猶予付きの罰金を課することができる。

11 異議申立、控訴

11.10 大会における各種の意義申立は、ロシア自動車連盟のスポーツ法典第3条3項9号に定められた手順に沿って行わなければならない。なお、この場合、100,000ルーブルの手数料を支払わなければならない。

11.11 マシンの装置およびユニットの取り外しおよびそれに伴う解体を要求するような意義申立の場合、申

し立てた者が追加で 100,000 ルーブルの手数料を支払わなければならない。

11.12 申請者は、スポーツコミッショナー委員部による判断に対して異議を持つ場合、ロシア自動車連盟控訴裁判所に控訴することができる。なお、この場合、控訴する手順はロシア自動車連盟スポーツ法典第 3 条に定められた通りである。

12 授賞式

12.10 優勝者および入賞者の授賞式は、ステージ別の規定に従って行われる。

12.11 RDS GP 2021 シーズンの授賞式の日時および場所に関しては、別途発表される。

付録1 ペナルティ対象項目一覧表

以下の表はあくまで参考のためのものである。表に示されたペナルティ対象項目はスポーツコミッショナー委員部または（それが存在しない場合には）レースの長の判断により個々の事態に対して適用されることがある。

【表】

違反行為	参加拒否 (強制退席)	その他行為 による措置	罰金
事務検査および技術検査を受けなかった場合	参加拒否		
健康診断を受けなかった場合	参加拒否		
装備一式もシートベルトも着用せずに マシンをサーキットに走らせた場合			
1回目			10,000 RUB
2回目			20,000 RUB
3回目	強制退席		
評価対象区画以外の区画においてドリフト 走行した場合（各ステージにつき）			
1回目		警告	
2回目			5,000 RUB
3回目	強制退席		
燃料・潤滑剤の給油・保管に関する安全 措置を講じなかった場合			
1回目			5,000 RUB
2回目			15,000 RUB
罰金を支払うことを拒否した場合	強制退席		
パドックにおけるメンテナンスエリアの 設置・解体に関する本規定の要件に反した 場合			10,000 RUB
主催者に事前連絡せずに、または、まともな 理由がなく競技に出頭しなかった場合			40,000 RUB
配置申請書に事実と合わない情報を記入した 場合			10,000 RUB
ピット関連規則および5分厳守の規則に反した 場合			
1回目		警告	
2回目			10,000 RUB
3回目	強制退席		
5.1.1に定められる要件に反した場合			

1回目		警告	
2回目			10,000 RUB
3回目	強制退席		
旗による合図および（または）審査官の指示に従わなかった場合			
1回目		警告	
2回目			5,000 – 20,000 RUB
3回目	強制退席		
サーキットを故意に逆行した場合			
1回目			15,000 RUB
2回目	強制退席		
ステージ別の規定に定められる打ち合わせに出頭しなかった場合			
			4,000 RUB
パドック内での速度制限に反した場合			
			10,000 RUB
パドック内でドリフト走行した場合			
			15,000 RUB
サーキットで危険を伴う走行をした場合、または重大なミスを数回起こした場合			
1回目			5,000 RUB
2回目			10,000 RUB
3回目	強制退席		
TOP-32、TOP-16 の開催パレードに出頭しなかった場合			
			30,000 RUB
参加者パレードの時（主催者の要件に反して）危険を伴う運転をした場合			
			10,000 RUB
サンプリング、プロモーション、客（観客、他の参加者、主催者スタッフ）に対する広告製品の配布、パートナーまたはスポンサーの商品の配布を含む不正な行為を許可なしに行った場合			
			25,000 – 60,000 RUB
申請者またはそのスタッフが機器、フェンスを含むサーキットのインフラを成す要素の損傷、競技エリアへの技術流体の流出、ゴミの放出を起こした場合（その違反行為の規模に応じて）			
			5,000 RUB + 損害賠償
申請者のマシンが、入構許可書を持参せずに、または、しかるべき許可書を持参しない者を載せ、			

パドック等入構制限のかっているエリアに入構した場合		15,000 RUB
ドライバーまたはそのチーム員のブレスレット、バッジを第三者に渡した場合		10,000 RUB
5.1、5.2に定められる要件に反した場合		5,000 – 40,000 RUB
各ステージのいずれかの段階において、技術検査に合格した、申請者のマシンの車体に主催者の指定する必須のシールのいずれかが貼られていない場合、または、ドライバーのレーシングスーツに必須のワッポンのいずれかが縫い付けられていない場合	警告	
1回目		15,000 RUB
2回目		30,000 RUB
ピットラインをバックして走行した場合		5,000 RUB
移動ルート説明図や安全対策説明図に反した場合	10,000 RUB	
「ドリフト・タクシー」エリアでドリフト走行をした場合		
1回目	警告	
2回目		10,000 RUB
審査官の判断について審査委員会と、打ち合わせ以外の場で交渉した場合		
1回目		10,000 RUB
2回目	強制退席	
大会の公認関係者に対して侮辱の発言をした場合		
1回目		10,000 RUB
2回目	強制退席	
公の場で大会シリーズおよびその公認関係者についてネガティブな発言をした場合（SNN、メディア、メッセージャー、チャット、他の大会の場を含む）		10,000 – 100,000 RUB

付録2 スタートの実施手順

1. RDS GP の各ステージについて、スタートの合図は以下の1または2に定められた方法により行われる。

1.1 ライトが自動的に点灯する信号を用いる方法(この方法は標準的であり、ペアレースの際に用いられる。)

1.1.1. この場合、各ドライバーは自らのマシンをスタート地点に配置しなければならない。スタート地点にいる審査官は各ドライバーの準備が整っていることを確認した上、信号を立ち上げる。信号では「赤1つ→赤2つ→赤3つ」という順にランプが点灯される。その後、全ランプが消灯され、それは「スタート！」(発走)の合図となる。

1.1.2 一部のサーキットでは、赤ランプが消灯されると同時に青ランプが点灯される、又は、赤ランプが4つ以上(なお、この場合5つ以下)あることがある。但し、赤ランプの点灯はスタート手続きの必須要素ではないため、点灯される赤ランプの数、または、それらが点灯されたかどうかに関わらず、それらの全てが消灯された時点が発走の合図とみなす。

2. 旗を用いる方法(この方法はペアレースの際、スタート信号に不具合が生じた場合に用いることがある。)

2.1.1 この場合、各ドライバーは自らのマシンをスタート地点に配置しなければならない。スタート地点にいる審査官は各ドライバーの準備が整っていることを確認した上、両手に(片手に1本ずつ)持つ緑色の旗を両側に広げて上げる。審査官が両旗を下方に下ろし始めた時点が「スタート！」(発走)の合図となる。

3. 予選では、旗を用いた方法が採用されるが、この場合旗は1本のみ用いられる。

4. リハーサルでは、参加するドライバーが一人の場合、旗を1本用いてスタートの合図が出される。

4.1 参加するドライバーが二人の場合、2.1に示された旗を2本用いる方法によりスタートが実施される。なお、スタートの合図が各ドライバーに対して個別に出されることがある。この場合、各ドライバーの側に広がった旗が下方に下り始めた時点がその側にいるドライバーへのスタート合図となる。

付録3 チームごとの予選レースの実施方法

1. 予選レースの実施のため、すべてのドライバーを、その人数に基づき、5-10名から成るグループに分ける。

1.1 グループ分けは、当年度シーズン得点一覧表に基づき行われ、シリーズの第1ステージの場合のみ、前年度得点一覧表に基づき行われる。

1.2 得点一覧表で上位になっているドライバーほど遅いグループに振り分けられる。

1.3 当シリーズに初めて参加するドライバーは、0点取得しているとし、主任書記官により早いグループに振り分けられる。

2. 各ドライバーは審査官の指示に従いダミーグリッドに到着し、そこからスターティンググリッドに呼ばれる。

3. レースの長は必要に応じてスタート手続きを変更することがある。

4. 最後に挑戦したドライバーに対して審査官が点数を付与した時点、当チームの予選第1レースは終了することとする。第2レースはその直後に開始する。

5. いずれかの挑戦に参加しなかったドライバーは、その挑戦に対する点数が0点となる。

5.1 なお、第1挑戦に参加しなかったドライバーは、当チームの第2兆戦に参加することができる。

6. 同一ドライバーがいくつかのチームのメンバーとして予選に参加することができない。なお、以下の場合を除く。

- ・ ドライバーが、自チームの第2兆戦が終了する前までに予選タイムアウトを申し出、自らの第2兆戦を最後に挑戦するチームと共に行うことができる。

- ・ なお、この場合、当該の申し出は、主任書記官に対して行うものとし、自チームの第2兆戦が終了する前までに行わなければならない。

- ・ 第1兆戦に対する点数が既に付与され、第2兆戦を最後のグループと共に行うこととなった場合、第1兆戦に対する点数は取り消され、0点となる。

7. 天候が急に変更した場合、レースの長は各ドライバーに対して一周試走することを許可することがある。この場合、試走は予選レース本番と同様の手続きを経て行われる。

付録4 必須表記、スタート番号、シール、広告の配置手順

1. 各ドライバーのマシン並びにレーシングスーツに、本付録の指示に従い、必須のシールおよびワッポンを配置しなければならない。

2. 各ドライバーのスタート番号は「登録規則」に従い付与される。なお、「0」および「00」の番号は付与できない。

2.1 「1」、「2」、「3」の番号に関しては、前シーズンの優勝者または受賞者に対してのみ付与できる。

3. ドライバーの姓、イニシャル、国旗は、マシンの両リアサイドウィンドウ、両フロントフェンダー（進行方向から見て後上部の隅）またはまたはルーフの両サイドエッジに印刷されていなければならない。

3.1 文字の色は、ウィンドウ（透明ガラス）の場合には白、ルーフおよびフェンダーの場合には車体とのコントラストが高く読みやすい色でなければならない。

3.2 姓およびイニシャルは、マシンの両リアサイドウィンドウ、両フロントフェンダー（進行方向から見て後上部の隅）またはまたはルーフの両サイドエッジに印刷されていなければならない。文字の色は、ウィンドウ（透明ガラス）の場合には白、ルーフおよびフェンダーの場合には車体とのコントラストが高く読みやすい色でなければならない。ドライバーの姓およびイニシャルは、ドライバー資格証明書に表記された通り、マシンの両側に同様のフォントを用いてロシア語または英語で印刷されていなければならない。なお、この場合、文字の大きさは30mm以上でなければならない。

4. 競技のいずれかの段階において、ドライバーのレーシングスーツに広告ワッポン、または、車体に広告シールが欠如していることが発見された場合、RDS GP 2021 規定に付属する付録1に従いペナルティ金が課せられる。

5. 広告シールおよびワッポンの配置は必須となっており、ドライバー等はそれを拒否してはならない。なお、4.3に定められた場合を除く。

6. 切断、折り返し、伸張等を含む必須広告シールのあらゆる加工は禁止されている。なお、フロントガラスに貼るシールを除く。

7. 広告資料の全部または一部がロシア連邦の法律、ロシア自動車連盟のスポーツ法典、当シリーズの規定または道徳的・倫理的基準に反することが判明した場合、主催者はそれらを排除するまたは覆い隠すことを要求することができ、ドライバー等はそれに従わなければならない。

8. 主催者は、必須広告資料の数を増やすことができる。なお、この場合、当該報告書を発表することによりその旨を参加者に告知しなければならない。

9. 大会の期間中、ドライバーのマシンにスタート番号、広告資料、レースのシリーズ番号、トラックデーその他大会に関連するものを載せることが禁止されている。再発行が必要になった場合、主催者はそれらの追加シール等に対して手数料を要求することがある。

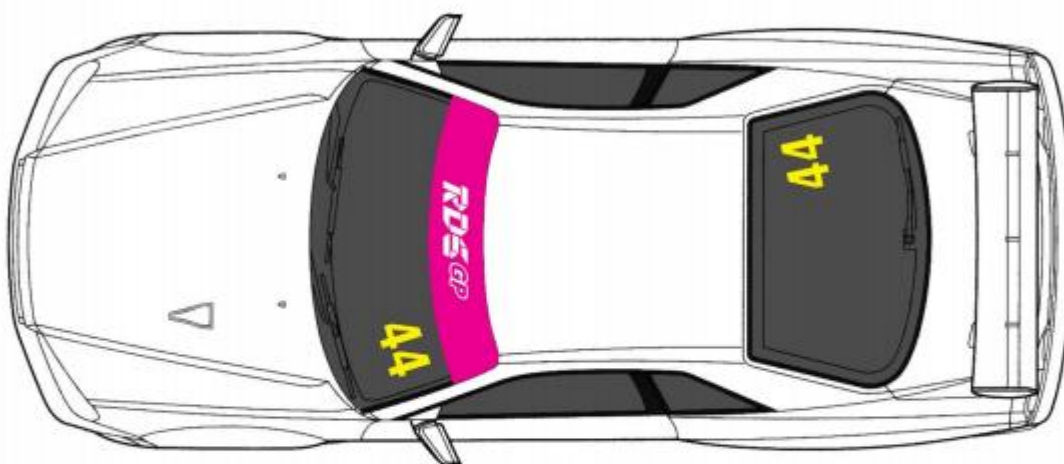
10. 競技中、ドライバー又はそのマシンが、テント、ボックス、修理エリア等当競技の行われる区域内のあらゆる所に必須広告シールおよびワッポンを身につけずに所在することが禁止されている。

11. 広告資料のいずれかが指定された場所以外の場所にあり、又は、方向を誤って貼り付けられた場合、反則とみなし、付録1に従いペナルティ金が課せられることがある。

12. 広告資料の配置に関する指定に技術的に従うことが困難であると認められた場合、主催者は指定のパターンから多少外れることを許可することができる。なお、その許可に関する決定は、技術検査官の報告に基

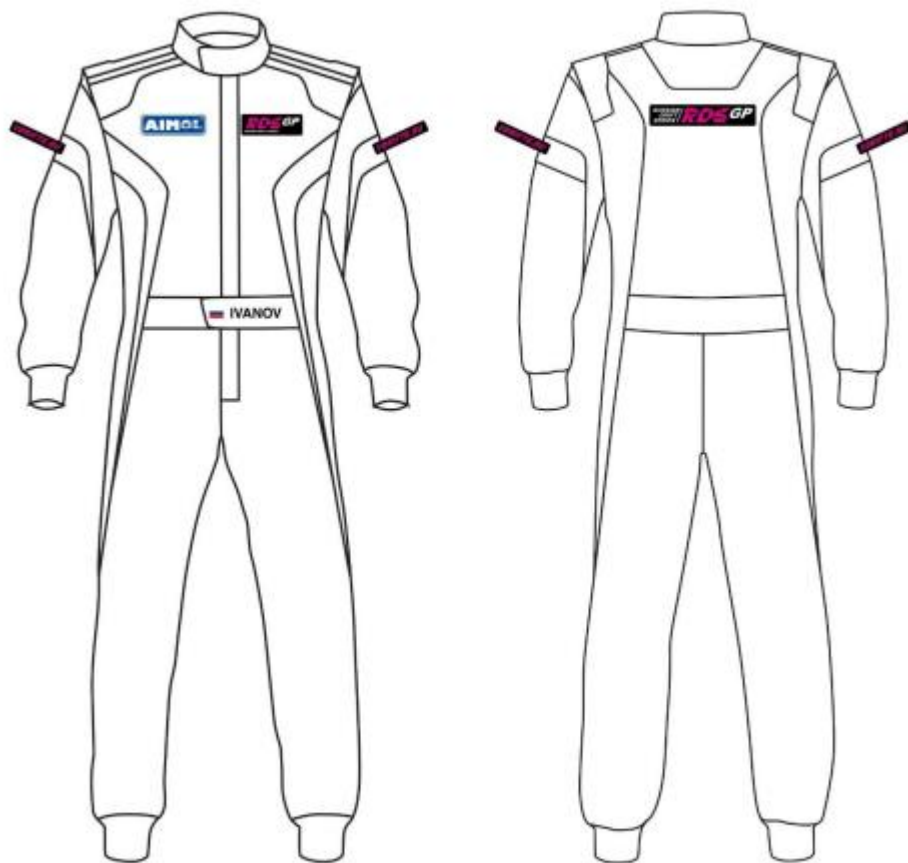
つき主催者が下ろすものとする。

付録 4.1 車体における必須広告シールの配置図



Aimol - 390x126mm.   Aimol - 185x60mm.

付録 4.2 レーシングスーツにおける必須広告ワッポンの配置図



肩より下 20cm 以内

肩より下 20cm 以内

付録5 ドライバー、代表者、スポッターへの RDS GP 証明書の発行手続き

1. RDS GP にドライバーとして参加できるのは、RDS GP ドライバー証明書を有する者のみである。
 - 1.1 なお、上記のドライバー証明書が交付されるのは、以下の者に限る。
 - ・ RDS GP の前シーズンに参加し、1 位から 32 位までとなった者
 - ・ 前シーズンの RDS 地域シリーズに参加し、1 位から 3 位までとなった者
 - ・ 主催者から特別許可を得た者（なお、当許可をもらうためには、各ドライバーは www.vdrifte.ru の「書類」から証明書交付申請用紙をダウンロードし記入した上、主催者宛に送付しなければならない。
 2. RDS GP ドライバー証明書をもらうために、各ドライバーはマーケティング同意書に署名しなければならない。
 3. RDS GP に代表者として参加できるのは、RDS GP 代表者証明書を有する者のみである。
 4. なお、上記の代表者証明書が交付されるのは、以下の者に限る。
 - ・ 本シリーズの各ステージにつき、各ドライバーが提出する事前申込書に記載された代表者
 - ・ 本シリーズの各ステージにつき、各チームが提出する事前申込書に記載されたチーム代表者
 - ・ 事務検査の際、各ドライバー（またはチーム）が代表者として指名した者
 5. RDS GP 代表者証明書をもらうために、各代表者はマーケティング同意書に署名した上、事務検査に出頭し、ロシア自動車連盟のスポーツ法典、ドリフト競技の規則、RDS GP の規定並びにステージ別規定に関するテストを受け合格しなければならない。
 6. RDS GP にスポッターとして参加できるのは、RDS GP スポッター証明書を有する者のみである。
 7. なお、上記のスポッター証明書が交付されるのは、以下の者に限る。
 - ・ 本シリーズの各ステージにつき、各ドライバーが提出する事前申込書に記載されたスポッター
 - ・ 本シリーズの各ステージにつき、各チームが提出する事前申込書に記載されたチームスポッター
 - ・ 事務検査の際、各ドライバー（またはチーム）がスポッターとして指名した者
 8. RDS GP スポッター証明書をもらうために、各スポッターはマーケティング同意書に署名した上、事務検査（又は公式リハーサルの日、日程表に示されたりハーサルレースの開始時間前まで）に出頭し、ロシア自動車連盟のスポーツ法典、ドリフト競技の規則、RDS GP の規定並びにステージ別規定に関するテストを受け合格しなければならない。
 9. RDS GP ドライバー証明書、代表者証明書またはスポッター証明書が効された者がロシア自動車連盟のスポーツ法典、RDS GP 規定またはマーケティング同意書の要件に反した場合、主催者はそれらの証明書を取り消すことができる。
 10. ドライバー証明書、代表者証明書およびスポッター証明書の交付手数料として、一通当たり 5,000 ルーブルを支払わなければならない。

付録6 RDS GP 2021 予選レース、ペアレースに対して付与される点数一覧表

予選		ペアレース	
位	点数	位	点数
1	25	1	210
2	21	2	185
3	19	3	160
4	17	4	135
5-6	12	TOP-8	110
7-8	9	TOP-16	80
9-12	6	TOP-32	40
13-16	4		
17-24	2		
25-32	1		